- ※本レジメン集は外来化学療法加算の算定を行っているレジメンのみを掲載。
  ※当加算を取れない治療法や削除となったレジメン等のため、登録記号・番号に欠番がある場合あり。

削除 Axi**単剤療法** 

S腎臓がん2

削除 Eve**単剤療法** 

S腎臓がん3

削除 Sun**単剂療法** 

S腎臓がん4

削除 TEM単剤療法

	S H JIMA 703								
対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Nivo単剤療法(2週間隔法)					
1コー	-スの期間(休	薬期間含む	14日						
総コ	総コース数 制限なし								
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1			
2	ニボルマブ(		240 mg/body	点滴静注	30分	day 1			
	生食100 mL		1 P	尽個評任	30);	day 1			
	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1			
	1管外漏出 リスク分類		Nivo:非炎症性						
催吐	上性リスク分類		Nivo:最小度						
	ラインフィルター の要不要	Ni	vo投与のため、0.2又は0.22 μmインラインフィルターを使用						
	備考欄								

3 月 加帆が 7/00								
対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Axi+Pembro療法				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	21日					
総コ	総コース数 制限なし							
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	アキシチニフ	ř (Axi)	10 mg/body ※備考欄参照	経口		連日		
2		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
3		マブ (Pembro)	200 mg/body	点滴静注	30分	day 1		
	生食100 mL		1 P	点间肝住	30))	day 1		
4	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1		
	1管外漏出 リスク分類		Pembro: 非炎症性					
催吐	上性リスク分類		レジメン全体:最小	小度(Axi:最	小度 Pemb	ro:最小度)		
	ラインフィルター の要不要	Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用						
	備考欄 ※Axiは、1回5 mgを1日2回経口投与する。患者の状態により適宜増減するが、1回10 mg1日2回まで増量できる。							

S FI MAN TO I								
			レジメン名	Nivo+Ipi療法				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	21日					
総コ	ース数	4コース						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
2	ニボルマブ(	Nivo)	240 mg/body	点滴静注	30分	day 1		
	生食100 mL		1 P	点侧肘在	30))	uay 1		
3	生食50 mL		1 P	点滴静注	30分	day 1		
4	イピリムマブ	(Ipi)	1 mg/kg	点滴静注	30分	day 1		
	生食50 mL		0.4 P	小伯伊在	30),	day 1		
	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1		
	□管外漏出 リスク分類		Nivo:	非炎症性 I	pi:非炎症性			
催吐	上性リスク分類		レジメン全体: 昻	是小度(Nivo	:最小度 Ipi	i:最小度)		
インラ	ラインフィルター の要不要	Nivo	、Ipi投与のため、(	0.2又は0.22	μmインライン	フィルターを使用		
	※当レジメン後のNivo単剤療法はS5のレジメンを用いること。 ※NivoとIpiの投与間隔は、30分以上あける必要があるため、Rp.3の生食50 mLの投与時間は30としているため注意(全開で投与しないこと)。。 ※Ipiの投与ラインは独立したラインを用いることとされている。							

	5 日 加州 70 U								
	対象疾患 腎臓がん		レジメン名 Nivo単剤療法(4週間隔法)						
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	28日						
総コ	ース数	制限なし							
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1			
2	ニボルマブ(	Nivo)	480 mg/body	点滴静注	30分	day 1			
	生食100 mL		1 P	尽他即任		uay 1			
	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1			
	血管外漏出 リスク分類		Nivo: 非炎症性						
催吐	催吐性リスク分類		Nivo:最小度						
イン	インラインフィルター の要不要 Niv		vo投与のため、0.2又は0.22 μmインラインフィルターを使用						
	備考欄								

対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Len+Pembro療法(3週間隔法)				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	21日					
総コ	総コース数制限なし							
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	レンバチニフ	, ,	20 mg/body ※備考欄参照	経口		連日		
2	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
3	ペムブロリズ	マブ (Pembro)	200 mg/body	点滴静注	30分	day 1		
3	生食100 mL		1 P	小仙时任	30))	uay 1		
4	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1		
	L管外漏出 リスク分類			Pembro:非约	炎症性			
催吐	レジメン全体:最小度(Len:中等度 Pembro:最小度) ※Lenは内服薬のためルーチンの制吐療法は最小度に準ずる							
	インフィルター の要不要	Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用						
	備考欄 ※Lenは、1回20 mgを1日1回経口投与する。患者の状態により適宜減量する。							

S 育順 M <sup>3</sup> ん I U									
対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Len+Pembro療法(6週間隔法)					
1コー	-スの期間(休	×薬期間含む)	42 日						
総コ、	総コース数 制限なし								
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
	レンバチニフ	· , ,	20 mg/body ※備考欄参照	経口		連日			
2		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1			
3	ペムブロリズ	マブ (Pembro)	400 mg/body	点滴静注	30分	day 1			
3	生食100 mL	r	1 P	小仙伊仁	3077	uay 1			
4	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1			
	1管外漏出 Jスク分類		Pembro: 非炎症性						
催吐	催吐性リスク分類  能吐性リスク分類  ※Lenは内服薬のためルーチンの制吐療法は最小度に準ずる								
	インフィルター の要不要	Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用							
	備考欄 ※Lenは、1回20 mgを1日1回経口投与する。患者の状態により適宜減量する。								

	3 月 川東(A <sup>-</sup> -7011								
対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Pembro 単剤療法 (3週間隔法)					
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	21日						
総コ	総コース数 制限なし								
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1			
2	ペムブロリズ	マブ(Pembro)	200 mg/body	点滴静注	30分	day 1			
	生食100 mL		1 P		30)	day 1			
3	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1			
	血管外漏出 リスク分類		Pembro:非炎症性						
催吐	催吐性リスク分類		Pembro:最小度						
インラインフィルター の要不要 Pe			embro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用						
	備考欄								

	5 月 加勢 ルップ 0 1 2								
対象	対象疾患 腎臓がん		レジメン名	Pembro単剤療法(6週間隔法)					
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	42 日						
総コ	総コース数 制限なし								
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1		(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1			
2	ペムブロリズ	マブ(Pembro)	400 mg/body	点滴静注	30分	day 1			
	生食100 mL		1 P	一点的野生	30)	day 1			
3	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1			
	血管外漏出 リスク分類		Pembro: 非炎症性						
催吐	催吐性リスク分類		Pembro:最小度						
インラインフィルター の要不要 Pe		Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用							
	備考欄								

8 背験がん13								
対象	疾患	腎臓がん	レジメン名	Nivo+Cabo療法				
1コー	-スの期間(休	薬期間含む)	14日					
総コ	ース数	制限なし						
Rp.		薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日		
1	カボザンチニ	ニブ (Cabo)	40 mg/body	経口		連日		
2	生食100 mL	(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1		
3	ニボルマブ(	Nivo)	240 mg/body	点滴静注	30分	dov. 1		
3	生食100 mL		1 P	尽何肝住	3077	day 1		
4	生食50 mL(	フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1		
	1管外漏出 リスク分類		Nivo:非炎症性					
催吐	レジメン全体:最小度(Cabo:軽度 Nivo:最小度 ) ※Caboは内服薬のためルーチンの制吐療法は最小度に準ずる							
	インラインフィルター の要不要 Nivo投与のため、0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用					7ィルターを使用		
	備考欄 ※Caboは分1投与であり食事の1時間前から食後2時間までの服用を避け、空腹時投与とすることで、魚中濃度が上昇する)。							